

第4回桑名市五反田事案効果検証委員会 概要

令和2年6月8日

桑名市五反田事案第4回効果検証委員会について、令和2年4月15日（水）に名古屋市内での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面による意見聴取に変更しました。配布資料の概要及び主な委員意見は下記のとおりです。

記

【概要】

1. 浄化の進捗状況

<遮水壁内>

廃棄物層・下部帯水層

管理値（加重平均濃度 0.5 mg/L）を満足していることから、揚水停止した状態で濃度推移を確認している状況である。

<遮水壁外>

第2帯水層

主に北側エリア、南東側エリアで環境基準を超過する汚染が現在も確認されている。北側エリアでは令和元年度に新設した井戸（1-4-2）から高濃度の汚染が確認された。

第3帯水層

全ての井戸において、概ね環境基準付近まで浄化が進んでいる。

2. 追加対策（注水試験）について

第2帯水層北側エリアについて、令和元年度に実施した調査（土壌溶出試験、簡易応答試験）により、汚染残留区域の存在が明らかとなったため、揚水浄化を補完する追加対策（注水試験）を実施した。

（試験期間：令和2年2月の1か月）

その結果、注水井戸（30-4-2・1-4-2）における濃度が大きく低減するとともに、注水井戸に近接する30-6-2・30-1-2で注水期間中に濃度上昇が確認された。この結果から、揚水量が十分に確保できないエリア（地下水が流れにくいと想定される箇所）に残留する汚染の一部を注水効果により回収したと考えられる。

3. 令和2年度の対策

<遮水壁内>

廃棄物層・下部帯水層

管理値を満足していることから、揚水停止状態を継続し、濃度変化を確認する。

<遮水壁外>

第2帯水層

北側エリア

一定の効果が確認された注水試験を同エリアで継続する。

6月以降、注水試験エリアの変更を検討する。

浄化の進捗状況によっては、より集水性の高い井戸の追加を検討する。

南東側エリア

6本の井戸で揚水後、揚水量等の状況により揚水対象井戸の選定を行う。

浄化の進捗状況によっては、より集水性の高い井戸の追加を検討する。

第3帯水層

揚水浄化対策を継続する。その後、大幅な濃度上昇が見られない場合は、試験的に各井戸の揚水を停止し、次回委員会にその結果を報告するとともに、それ以降の対策について提案する。

【意見聴取】 意見聴取期間：令和2年4月24日～令和2年5月21日

<主な意見>

- ・第2帯水層南東側エリアで確認されている汚染は、北側と同様に不透水層（粘土層）に由来する可能性があるため、追加対策案として注水も検討されたい。
- ・注水試験を別エリアへ移行する際には、簡易応答試験により注水回収井戸等を把握した上で実施されたい。
- ・注水試験を継続することについて、引き続き適切なモニタリング体制のもと実施すること。
- ・今後、各井戸の浄化状況を整理するにあたり、累積処理量（1,4-ジオキサン濃度×揚水量）等も考慮すること。
- ・令和5年度末の対策完了に向け、過去の地下水シミュレーション結果等も参考にした上で、事案地全体としての評価を検討すること。

以上